

ハートエクスプレス No.2

Heart Express

PTA会長のひとりごと



思いやり。

4月。1年生が入学して、昭和中学校が新しいスタートを切った。すぐのこと。熊本で大きな地震がありました。テレビでは連日のように地震関連のニュースを伝えていますが、その中

で、私が心ひかれる場面がありました。

それは、避難所で、長い間避難生活を送っておられる人たちに、ボランティアの人たちが

肩や足、腰をマッサージしてあげている場面でした。

避難所で、ほとんど体を動かしていなかった人たち…特に、おじいちゃん、おばあちゃんたちの、マッサージを受けているときの表情といったら…! 本当に、本当に気持ちよさそうで、笑顔があふれそう。マッサージをしてくれたボランティアの人たちに、何度も「ありがとう、ありがとう」「おかげで体が軽くなった」とおれを言っている姿が印象的でした。

私は思うんです。そのボランティアの人たちは、避難されていた人たちの体の疲れをとってくれたのと同時に、きっと「心の疲れ」もとってくれたのだな、と。

ボランティアの人たちは、マッサージをしながら「たいへんでしたね。少しでも楽になってくださいね。」という気持ちを込めていた…その気持ちが伝わったのだと思うのです。

「思いやり」…相手の気持ちになって考えること。
(国語科奥川)

みなさんが生活している学校や家でも、思いやりの心をはかり、行動にあらわしましょう。

(2016. 4. 28)



新一年生が入学して、一か月近くが経ちました。

昭和中学校73人の子供達が、昨年とはまた違う姿を見せてくれるのが楽しみです。

PTAもまた新たに動き始めます。

維新小学校、昭和小学校、学区外から来られている方と出会う場所が行事を通して数多くあります。それぞれ考え方は違うけれど、色々な話を聞いてみると全く勉強になります。

仕事などで忙しく大変な時期あるかもしれないけれど、中学三年間はあつという間で、この時期に子供と一緒に何か出来る事は少ないかもしれません。

PTA活動を通して色々な人と出会い、色々な話を聞いて、学校を通して皆の笑顔のかけ橋になれるように楽しく活動出来たらと思います。

皆さんのご協力をお願い致します。

先日4月14日21時26分熊本地方で地震があり、現在でもメディアなどで報道されています。

5年前の平成23年3月11日、東日本大震災がありました。宮城県女川町では震災の後、さまざまな取り組みをされてはいますが、女川町からゆめと発信ゆめハウスの団体を紹介したいと思います。

いつでも必要な時に必要な事を笑みながら、アツアツながら進むために、物づくり、果樹園、カズさんまなび、焼きで新しい女の明日を作っていくため、地域のコミュニティ形成と生きがい作り、お祝い程度でも収入になればとの思いで、若い若者の就業の場として地域で夢を追う活動が出来る創出事業、生きがい作りから長く楽しく働く場所作りを目指して活動されています。

全国から支援して頂いた古Tシャツを使って、仮設住宅に住むお母さん達が心を込めて、ワイヤなどの芯材を使わずに針で編み上げたオリジナル布草履などがあり、私もこの布草履を履きまいた。

5年前の東日本大震災で被災された宮城県女川町は復興は進んでいるものの、現在も仮設住宅での生活をしている方も多くいらっしゃると思います。今日の熊本地震で被災された方々も、これから色々な大変な事が沢山あると思います。

私に何か出来るか解らないけれど、天災はいつ起るかわかりません。当分前に生活している毎日を楽しめたと感謝して、毎日後悔しないように生きていきたいと思っています。

そして、これから「会長のひとりごと」として伝えていきたいと思っています。